

---

# 遊戯王GX～紅蓮の魂～

サティスファクション

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

遊戯王GX（紅蓮の魂）

### 【Nコード】

N1363Y

### 【作者名】

サテイスファクション

### 【あらすじ】

遊戯王GXの小説です。主人公の高橋 たかはし 秀は しゅう なんやかんやで死んでしまう。果たして転生先のGXの世界でやっていけるのか？

## 第1話 何事も決断が大事（前書き）

初めてサテイスファクションです。色々あると思いますがよろしくお願ひします。

## 第1話 何事も決断が大事

俺の名前は高橋 秀（たかはし しゅう）、記念すべき高校生活最初の朝、要するに始業式の日、自転車で学校に向かってた。

そう、普通に向かっていただけだった。何も変わらない。横からトラックが飛び出してくる事以外は。

秀「あれ？もしかしてやばいんじゃない？」「これが最後のセリフだったと思う。」

そこから先は覚えてない。おそらくトラックにやられたはずだ。しかし、なぜか意識ははつきりしている。

秀「なぜだ？」

??「ワシが呼び出したからじゃ。」

目を開けると真っ暗な空間におじいさんが立っていた。

秀「……………誰？」

??「……………リアクション薄いな。もうちょっと反応してくれよ。まったく。だからトラックにやられるんじゃないよこの間抜け野郎」

……………訂正、白髪頭のクソジジイが立っていた。

??「おぬし、今失礼な事思ってたか？」

秀「そんな事思ってたねーよ」

??「そうか。そうだよな。クソジジイなんていうわけないよな

「神様に向かってそんな事言うわけねーよな。」

秀（野郎オ…心読めてんじゃねえか…って今こいつなんて？神？）

神「そう。神様じゃ。」

秀「それでその神様が何だ？なんか用か？」

神「そうそう。おぬし、人生やり直さないか？」

………ハイ？

秀「ちよつと待て。俺は「死んだ」………彘？死んだ？」神「だから死んだって。でも死に方がかわいそうだったじゃん。だからチャンスを上に来たのじゃ。」

まああれで生きてたらずげーけど。でも少しは希望持たたいじゃん。

秀「でも具体的にチャンスって？」

神「転生じゃよ転生よく知っとるじゃろ。」

秀「転生って例えば…」

そういつてポケットの携帯を取り出し、

秀「これとか？」

と言い『小説家になろう』のサイトを見せた。

秀「小説とかだとありきたりな事だがな。転生って」

神「まあ言うな。ということまで遊戯王GXの世界に行ってもらおう。」

しかしGXか。それは良いが問題は一つある。

秀「なあ」

神「なんじゃ。別にバイオハザードとかでもいいぞ。」

秀「いや、バイオはグロいから。そーじゃなくて元の世界に生き返らせてくれねーのか。」

神「諸事情で無理」

おい、諸事情って何だ諸事情って。

神「まあとりあえず行ってこい。実技からだから遅れないようにな。」

「

大丈夫だったの、まあとりあえず。一言。

秀「GXの世界へ行って〇〇〇！」

そして気がつく公園にいた。でもアレ？一つ思ったことだけど

会場何処だよ。

## 第1話 何事も決断が大事（後書き）

第1話初めてですのでうまく行かないので不安定ですがよろしくお願ひします。



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1363y/>

---

遊戯王GX～紅蓮の魂～

2011年11月2日02時05分発行